

平成30年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策 活動計画策定

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階						評価	評価コメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3		
東北	①活動計画策定	岩手県	軽米町	かるまいシリアルブランド化女性推進協議会			●	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし取り組んでいる様子はいかががえるが、実績としては取組改善する余地があるように思われる。かるまい地域ブランドのシリアルを活用した商品開発やイベントを通じた売上げの向上を望みたい。今後も継続した取組の中に新たなアイデアを組み入れるなどの工夫に期待したい。
東北	①活動計画策定	秋田県	秋田市	四ツ小屋地域元気づくり協議会			●	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。よつごや元気づくり計画の策定や実践活動は計画とおりの実績を達成させていると考える。一方、農業農村体験による売上げに結びつかなかったのは課題であり、今後は都市農村交流事業の充実させるための工夫に期待したい。
東北	①活動計画策定	秋田県	仙北市	仙北市明日につながる協議会			●	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし取り組んでいる様子はいかががえる。一方、地域の方向性を定める活動計画の内容が把握できないが、30年度に策定した計画に則り、地域の活性化につながる取組に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階						評価	評価コメント
					H28	H29	H30	R1	R2	R3		
東北	①活動計画策定	山形県	中山町	黒塚のまちなみ保存活用協議会			●	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし取り組んでおり、1年目から全ての目標を達成していることには、事業実施主体のやる気が十分に伝わる。今後も継続した取組に期待したい。
東北	①活動計画策定	福島県	会津若松市	若手農業者サポートクラブ協議会			●	○	□		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標を明確にし取り組んでおり、1年目から全ての目標を達成していることには、事業実施主体のやる気が十分に伝わる。今後も継続した取組に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)

平成30年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

●地域資源活用対策及び人材活用対策

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H28	H29	H30	R1		
東北	③農山漁村における農林水産物の販売・加工	秋田県	北秋田市	大阿仁地域活性化協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。「道の駅あに」での物販イベント等の充実により、交流人口は目標を上回っており、事業目的の一つである担い手組織の自立化は順調に進んでいることが確認できる。一方、売上げは天候不順等の影響もあるが、29年度を下回っており、取組の継続性を維持するためにも、ムラ市など交流人口を増やすイベント等の企画の充実を図り、今後も継続した取組の発展を期待したい。
東北	④農山漁村への定住促進	岩手県	花巻市	大迫ぶどう産業振興協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。目標はかなり達成できており、特に新規就農者数が4名と増えている点は、本事業を通じて策定された「大迫ぶどう産業振興ビジョン」に則って、ぶどう農家のデータベース構築等に取り組み、また「就農コーディネーター会議」を頻繁に行うことで積極的に対応した成果といえる。交流人口の拡大とともに、継続的な活動を目指して、グリーン・ツーリズム等の参加者へのアンケート調査による意見を参考に、PDCAサイクルに基づいて体験プログラムの充実を図り、今後の継続した取組の発展を期待したい。
東北	④農山漁村への定住促進	岩手県	雫石町	コテージむら農家住宅推進協議会		●	●	□	B	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。コテージむらを活用した「これからの農家住宅」の可視化・疑似体験化とそれを活用した東京でのプロモーション活動などの情報発信は行われている。「田園回帰」志向があるので取組自体は時宜になかったものである。ただし、目標の指標として設定している売上げや雇用は、移住者が認定新規就農者として専業経営することを前提としているが、移住者が就農しない場合や兼業・副業として農業に取り組む場合は、目標を達成することは難しいといえる。今後、認定新規就農者への移住支援を進めるならば、住宅環境の整備だけではなく栽培技術の習得や経営のアドバイス等の就農に関する手厚いサポート体制の構築も併せて実施することを検討していただきたい。
東北	⑥農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援	岩手県	花巻市	ふるさとやさわ元気村協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。取組を定着させるためには地域内の様々な団体、個人を如何に取り込み、協働していくかがポイントである。そういう意味では様々な取組を行いながら成果を積み上げた結果が「ほ場整備事業」実施のための同意率に反映されていることが伺える。福祉農園は本事業の大事な位置付けを占めているものなので、理解を深めるためにも、体験プログラムなどの詳細な報告体制の構築が望まれることから、今後も継続した取組に期待したい。
東北	⑥農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組支援	秋田県	秋田市	秋田市農福連携推進協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。「休耕地・耕作放棄地を活用して障がいを持つ方、アクティブシニア層を労働力として農地の再生を図り、収益性の高い畑作物を生産、6次産業化を試みる」ためには、本事業での活動をテコにして各所と連携して正の活動の循環の仕組みを作り出すことが重要である。交流人口や農作業体験の人数を増やして「ファン」づくりに注力する一方、働く人には十分な働きがいを提供できるような仕組みを考えて実践していくことこそが本事業のカギとなると考える。継続した今後の取組に期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)

農政局等	取組メニュー	都道府県	市町村	事業実施主体	事業実施段階				評価	評価コメント
					H28	H29	H30	R1		
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	仙台市	仙台坪沼活性化推進協議会	●	●	■		A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。計画はすべて取り組まれているものの、自己資金での障害者就労継続支援事業所の開設が遅延したことにより目標値を達成できなかった面はあると思うが、本事業では、金銭で評価できない「里守型村業創出プラットフォーム」の取組は、単なる地域の支え手の形成・定着だけでなく、農福連携の観点からも今後の成果も注目に値する。また、農産物の出荷事業と交流事業については、本事業の柱だが、両者がともに関連しあい双方で高め合うような地域としての構造化があるとなおよい。障害者就労継続支援事業所の早期開設と今後の展開に期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	登米市	鱒淵地域住民自治推進協議会		●	○	□	A	計画に基づく取組がおおむね実施され、ある程度成果があがっていることから、評価をBとした。計画はすべて取り組まれているものの、1年目に順調だったマルシェでの売上げが伸びるどころか半減していることや交流人口の伸びも低調となっている。これは、マルシェ及び体験型ツアーの仕掛けやターゲットの絞り込みに大きな課題が生じているものと考え。今後は、地域の中で関連し合い、互いに高め合っていくような姿の取組について再考することに期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	宮城県	大崎市	里山と首都圏を結ぶ田尻地域ひともの・文化交流促進協議会		●	○	□	B	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。紅花を中心に地域の振興を図る取組を総合的に行おうとしている。生産、販売、交流(観光)ともに地域として一体的な取組として、地域ぐるみの組織化が既に形成され、30年度の主要目標の交流人口、売上げ、雇いが、29年度を大幅に超える高い成果となっている。今後も継続してPDCAサイクルを廻し、事業の成果がしっかり定着することに期待したい。
東北	⑦農山漁村の地域提案型活動	山形県	白鷹町	白鷹町「日本の紅(あか)をつくる町」連携推進本部		●	○	□	A	計画に基づく取組が十分に実施され、成果があがっていることから、評価をAとした。紅花を中心に地域の振興を図る取組を総合的に行おうとしている。生産、販売、交流(観光)ともに地域として一体的な取組として、地域ぐるみの組織化が既に形成され、30年度の主要目標の交流人口、売上げ、雇いが、29年度を大幅に超える高い成果となっている。今後も継続してPDCAサイクルを廻し、事業の成果がしっかり定着することに期待したい。

注1:「事業実施段階」の凡例 ○交付対象年度(計画) ●交付金対象年度(実施済) □目標年度(計画) ■目標年度(実施済)